

香港2025 U20東アジア陸上競技選手権大会
日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2026年U20カテゴリーの最重要競技会である、オレゴン2026 U20世界陸上競技選手権大会の成功を念頭におき、本大会で参加者全員がメダル獲得をできるよう戦略的派遣を行う。

さらに、ジュニア期の育成に配慮した将来性を見込んだ競技者を派遣し、シニアカテゴリーの強化につなげられるようにする。

2. 開催地

香港

3. 開催期間

2025年9月26日(金)～28日(日)

4. 開催種目

大会詳細情報の発表後、変更・追加となる可能性がある。

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH(99.1cm)、400mH(91.4cm)、3000mSC、4×100mリレー、4×400mリレー、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6kg)、円盤投(1.75kg)、ハンマー投(6kg)、やり投(800g)

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、100mH(83.8cm)、400mH(76.2cm)、3000mSC、4×100mリレー、4×400mリレー、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4kg)、円盤投(1kg)、ハンマー投(4kg)、やり投(600g)

(3) 混合

4×400mリレー

5. 選考基準

編成方針に基づき、出場可能枠数(個人種目1種目2名、リレー種目1種目1チーム)に則り、2025年1月1日(水)から2025年8月3日(日)までのWRk競技会による記録を対象に、ワールドアスレティックス(以降WA)のSeason Top Lists*1から、以下の規格優先順位で出場意思のある選手を選考する。

(1) 2025年アジアトップリスト(1か国2名)において、3位以内に入る競技者。

ただし、トップリストの上位者から選考する。

また、同記録の場合、セカンド記録(サード記録以降も同様)を比較して選考する。*2

ジュニア規格とシニア規格で異なる種目(男子110mH、砲丸投、円盤投、ハンマー投)は、以下の規格で選考する。

男子110mH:シニア規格(1m067)

男子砲丸投、円盤投、ハンマー投:ジュニア規格(男子砲丸投:6kg、円盤投:1.75kg、ハンマー投:6kg)

(2) 2025年アジアトップリスト(1か国2名)において、8位以内に入る競技者で、本大会でメダル獲得が期待できる競技者。ただし、トップリストの上位者から選考する。

また、同記録の場合、セカンド記録(サード記録以降も同様)を比較して選考する。*2

ジュニア規格とシニア規格で異なる種目(男子110mH、砲丸投、円盤投、ハンマー投)は、以下の規格で選考する。

男子110mH:シニア規格(1m067)

男子砲丸投、円盤投、ハンマー投:ジュニア規格(男子砲丸投:6kg、円盤投:1.75kg、ハンマー投:6kg)

(3) 本大会で入賞が期待できる競技者。

(4) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者。ただし、選考においては、競技規格・記録・気象条件等を総合的に勘案する。

*1 WAのSeason Top Lists

<https://worldathletics.org/records/toplists/sprints/100-metres/all/women/senior/2025>

*2 本要項におけるセカンド記録(サード記録)とは、2025年4月1日(火)から2025年8月3日(日)までにおける、各競技会(WRK競技会に限らない)の競技成績(最終リザルト)の自己2番目の公認記録とする。途中試技の記録は含まない。

6. 選考方法

選考基準に則り、強化委員会強化育成部にて選考原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

7. 補足

(1) 対象者は2025年12月31日時点で16歳、17歳、18歳または19歳の、2006年12月31日から2009年1月1日生まれの日本国籍の競技者。

(2) 2008年、2009年生まれの子供用競技者が出場できる種目数は最大で個人2種目と、いずれかのリレー1種目までとする。個人2種目がトラック種目である場合、200mを超える種目は1種目までとする。

(3) 各種目2名まで出場可能。ただし、派遣人数はアジア陸連が定めるエントリー数の上限の枠を保证するものではない。

(4) 代表選手は本連盟または大会主催者が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。

(5) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

1) アンチ・ドーピング規則に反した場合

2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合

3) 前記(4)を遵守しない場合

(6) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。

(7) 天災、疫病の流行、社会情勢、主催者(アジア陸上競技連盟)の指示等の理由により、選考基準、本大会への派遣について、専務理事の決定において変更することができる。